

学習展開例（第6学年 体育）

担当（篠原）

学期	単元	学習目標	標準時数	学習展開例		想定時数
				学校（みんな）ですること	家（一人）ですること	
2	保健 ・病気の予防	◎ 病気の予防について、課題を見つけ、よりよい解決方法を考え、実践しよう。 ・ 病気の予防について理解する。 ・ 病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現する。	8	・ 「病気の予防」について、自分が調べてまとめたことについて交流する。 ・ コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、課題を見付け、課題解決の方法を調べたり、考えたりしたことをまとめる。 ・ 「誰に」「何を」「どのようにして」伝えるのか考え、実行する。	・ 「病気の予防」の章全体を通して、自分が気になったこと、疑問に思ったことについて調べてまとめる。 ・ コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、課題を見付け、課題解決の方法を調べたり、考えたりしたことをまとめる。	
1	水泳運動 ・クロール ・平泳ぎ ・安全確保につながる運動	※ 水遊びの心得については、学級活動等で扱う。	12	/		
1	表現運動 ・フォークダンス	◎ 表現運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、表したい感じを表現する。 ・ 日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊る。	6	・ 調べてきたフォークダンスを紹介し合い、自分やってみてみたいフォークダンスを選ぶ。 ・ 踊りの特徴をとらえて練習し、発表や交流等を行う。	・ フォークダンス（日本の民謡を含む）の歴史と踊りの特徴について調べる。	
1	体づくり運動 ・体の動きを高める運動	◎ 走・跳の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身につける。また、自分の追究したい種目を選び、自己の目標達成に向けて活動を工夫して行う。 ・ 体の柔らかさ、力強い動きを高めるための運動をする。	26	（毎時間、体の柔らかさ、力強い動きを高めるための運動を行う。） ・ それぞれの運動を実際に行い、行い方を知り、自己の目標を設定する。 ・ 目標達成のための自己の課題を見つけ、課題解決のための活動を選び、行う。 ・ 友だちの良い動きや変化を見つけたり、考えたりしたことを友だちに伝える。 ・ 自分の好きな種目を選び、課題を追究する。 ・ 友だちとの競争のや記録への挑戦の仕方を工夫して行う。	・ 主運動につながる多様な動きをつくる運動を行う。 ・ 目標達成のための自己の課題解決のための活動を行う。 ・ 友だちとの競争の仕方を考える。	
1	陸上運動 ・短距離走・リレー	・ 短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受け渡しをしたりする。				
2	陸上運動 ・走り高跳び	・ 走り高跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶ。				
2	陸上運動 ・ハードル走	・ ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越える。				
1	体づくり運動 ・体ほくしの運動	◎ 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技を身に付ける。また、一人一人ができる技を組み合わせ、調子を合わせて演技をする。 ・ 手軽な運動を行い、心と体との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりする。	18	（毎時間、体ほくしの運動を行う。） ・ それぞれの運動を実際に行い、行い方を知り、自己の目標を設定する。 ・ 目標達成のための自己の課題を見つけ、課題解決のための活動を選び、行う。 ・ 友だちの良い動きや変化を見つけたり、考えたりしたことを友だちに伝える。 ・ 自分の好きな種目を選び、課題を追究する。 ・ 考えてきたことを出し合い、集団演技を決め、練習する。 ・ 集団演技の発表の仕方（発表会、動画等）を選んで行う。	・ 主運動につながる体ほくしの運動を行う。 ・ 目標達成のための自己の課題解決のための活動を行う。 ・ 一人一人のできる技を組み合わせたグループ作品を考える。 ・ 集団演技完成のための練習をする。	
2	器械運動 ・マット運動	・ マット運動では、回転系や技巧系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりする。 ・ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったりその発展技を行ったりする。				
3	器械運動 ・跳び箱運動					
2	体づくり運動 ・体の動きを高める運動	◎ スポーツ大会を開催し、「する」「みる」「支える」「知る」など、自己の特性に応じて、スポーツとの多様な関わり方について考える。 ・ 巧みな動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行う。	20	（毎時間、巧みな動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行う。） ・ それぞれの運動を実際に行い、行い方を知る。 ・ ボール操作とボールを持たない時の動き等を高める。 ・ 規則を工夫したり、作戦を選んだりする。 ・ 友だちの良い動きや変化を見つけたり、考えたりしたことを友だちに伝える。 ・ 自分の好きな種目を選び、みんなが楽しめる規則を選んだり、作戦を考えたりする。 ・ 目標達成のための自己やチームの課題を見つけ、課題解決のための活動を選び、行う。 ・ どのようなスポーツ大会にしていのか、意見を出し合い、決定する。 ・ スポーツ大会を開催する。	・ 巧みな動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行う。 ・ 自己の課題解決のための運動を行う。	
1	ボール運動 ・ネット型 （ソフトバレーボールを基にした簡易化されたゲーム）	・ ネット型ゲームでは、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをする。 ・ ゴール型では、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをする。				
3	ボール型 ・ゴール型 （バスケットボールを基にした簡易化されたゲーム） （サッカーを基にした簡易化されたゲーム）					
			90			

・「想定時数」は、学校ですること（授業）の時数とする。